

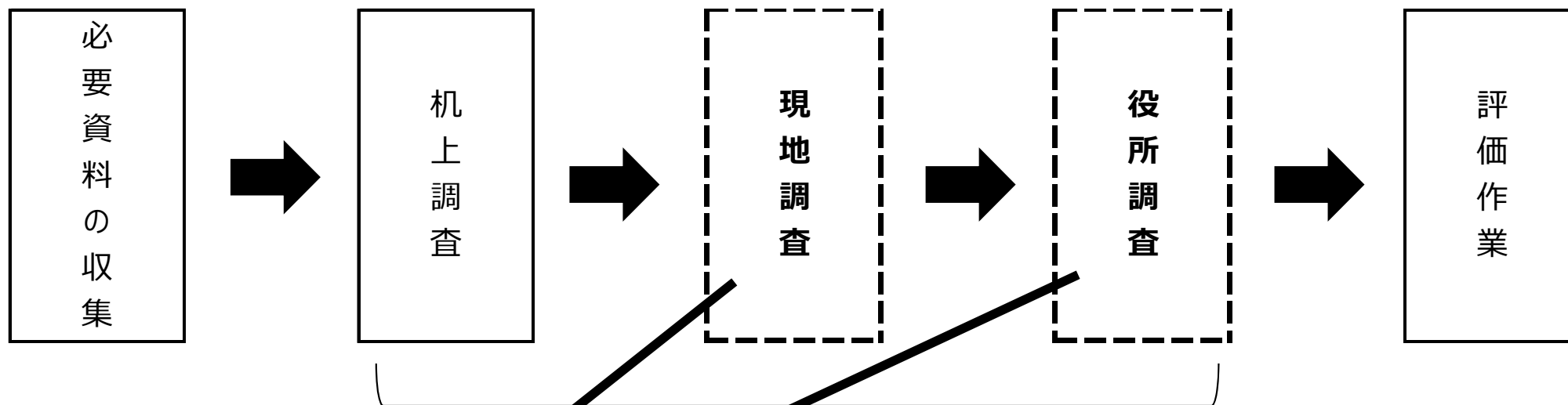
主催：株式会社プロフェッションネットワーク

**相続専門税理士が実際に行う
「現地調査」「役所調査」
での評価減の見つけ方**

平成29年12月6日（水）

Farbe 税理士法人
ファルベ不動産

税理士法人ファルベ不動産 代表税理士
公認会計士・税理士 木下勇人



1. 効率的な評価手順を意識する！
2. 目的意識を持って各調査を行う！

今回はここ！

- 何を知りたいのか？
- なぜ知りたいのか？

～現地調査編～

1. 減価要因を探す

財産評価基本通達（以下「評基通」）における

土地評価 = 減点主義（マイナスを探す！）

→ 様々な減価要因があるため、現地でその要因ごとの調査を行う

2. 縄伸び（なわのび）、縄縮み（なわぢぢみ）を検討

→ 縄伸び（なわのび）につき、

特に分筆を繰り返している残地は注意が必要

3. 利用区分単位を把握する

→ 筆単位での評価ではない（同じ筆に複数の利用区分）